



ながの村

【2008年2月15日発行】

〒729-1360
広島県神石郡神石高原町永野2549の1
TEL(0847)8610215
FAX(0847)8610045

2

2008
FEBRUARY/如月

H.P/ www.naganomura.com
e-mail naganomura@image.ocn.ne.jp

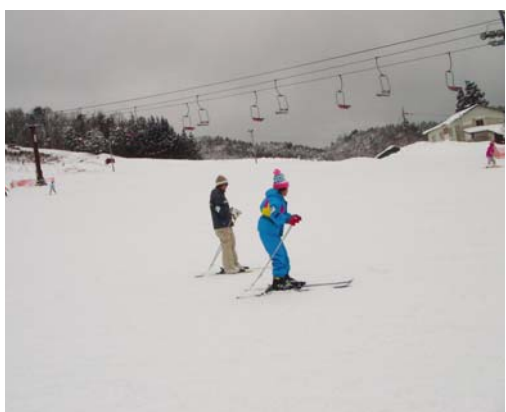


来年度の花面公園の 環境整美

日程決定

- 1と き 平成20年
4月20日(日)
8時~12時
雨天決行
詳細は3月の
運営委員会で
決定
- 2と ころ 花面公園
などのゴミ出し
公園の草刈り・
剪定・その他お
弁当を食べな
がら交流
- 3内 容 空き缶・ビン類
などのゴミ出し
公園の草刈り・
剪定・その他お
弁当を食べな
がら交流

前中は天気も良く絶好のコンディションで毎年以上の上達ぶりで元気いっぱい滑りました。
午後からは多少空模様が悪くなりましたが、事故が怪我もなく全員無事にスキー教室を終えました。
また来年も楽しくスキーに行けるように育成会では、計画しております。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



永野子ども 育成会 スキー教室

いつも通り今年も2月3日(日)三井野原でスキー教室を行いました。午

帝釈峡の一角で永野地区にある花面公園は平成10年から花木を中心に整美が始まり、毎年永野地区住民の全世帯から集まり、ゴミ集め、空き缶拾い、草刈り、剪定などの整備をしてきました。
来年度も4月春爛漫の時期に設定しました。整美が終わったらみんなでお弁当を開き、永野地区の住民がそろって汗を流し花見を楽しみます。
3年目になります。ロッククライマーの愛好家に、クライマーのネットワークを駆使して呼びかけます。更には友の会、ふるさと会員のみなさんにもご案内いたします。

人物紹介

Vol.33



江草敏恵さん(80歳)

昭和2年4月2日まれ

神石高原町永野の宮野家に6人兄弟の末っ子として生まれ、兄が3人、姉が2人で、現在は福山市加茂町在住の姉と2人姉妹になりました。2人とも元気です。

子どもの頃は体を動かす事が大好き。スポーツは得意。ゲートボールはかなりの期間近所や知り合いの方と楽しみ最近ではグラウンドゴルフも始めました。

永野小学校時代は当時全校生徒が140人ほどいました。相渡小学校、永野南小学校の3校で連合運動会がある。と300人を越える大運動会で、

毎年楽しみにしていました。走るのも得意で、いつも先頭を走っては家族に褒められ、友達には羨ましがられていました。

祖父が83歳で亡くなり、その3年後に祖母も永眠、「トシエ、トシエは何処へいった。」といっちは祖父母がよく可愛がってくれたことを思い出します。

女学校を卒業して挺身隊に入り、その後習い事をするために7ヶ月間横浜にいたことがあります。戦時中の激動期だから自分の将来もどうなるかわからない青春時代でした。

そして23歳で縁あって、永野の江草家に嫁ぎ、主人は10代目の村医者で、江草家の妻として切り盛りをしてきました。相渡に江草医の分院を主人が作り、それから看護師を伴って3人で往診や分院での診察に同行しました。午前中早い時間に本院で診察を終えて、患者宅に10軒ぐらい往診して分院に向かっていました。患者と共に待ちかまえていて、何とも忙しい毎

日でした。

結婚して10年ぐらい経って薬剤師の資格をとり、薬品の調合をし、江草医院での最も重要な役割として、患者と医師との中継ぎ役をして患者に喜ばれ、医師のサポート役としても重宝がられていました。

主人との思い出話は、分院での仕事が終わると、帝釈峡一帯や呉ヶ峠、相渡、草木、古川を車で散策しながら、主人に辿り一帶の景観を説明し、語るのが楽しみでした。言わば帝釈の自然を満喫したことです。

2人の間には、男の子と女の子が授かり、今はどちらも広島で、仕事をし、嫁いでいるので安心してます。50数年間一緒に暮らした主人が82歳でなくなり、今は一人暮らしですが子どもや3人の孫が心配してくれ、永野によく帰ってくるのが楽しみです。

好きな食べ物には控えた方がよいのだが、お肉や甘いものです。そして今はゲートボール、グラウンドゴルフが楽しみです。それよりもっと好きなことは旅行や自

然を散策することです。

【取材の感想】

取材が1ヶ月早まって、前日に電話でアポをとって訪問しました。敏恵さんは待ちかまえたように歓迎してくださり、人生80年の出来事を話して下さいました。その中でも特に私が印象に残っているのは、ご主人と50年間夫唱婦随で地域社会に尽くされ、そして住民のみなさんに愛された様子がよくわかりました。

10代も続いた地域への医療貢献を主人の死と共にその幕を閉じられたことは誠に無念だった事でしよう。しかし息子さんが代々続いたご先祖の遺志を継いで、広島で開業されたことは生涯の喜び事と受け止めました。



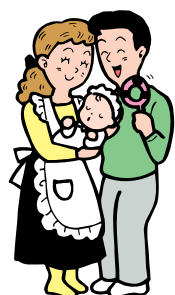
元気に育ってネ! おめでとう 赤ちゃん

ながの村に嬉しいニュースが入りました。昨年の7月に市場班に入居された大場祥征・裕子さんご夫妻に長男の然(ぜん)くんが誕生しました。昨年の12月26日でした。もう1ヶ月半になり、これで大場さんご一家は4人家族になりました。

然君は生まれたときは体重2,886グラム、身長47.5センチでしたが、1ヶ月検診では、体重4,058グラム身長51センチとすくすくと育っています。

ご両親は永野のような自然がすきで、自然の然という言葉をとって「然(ぜん)」と命名されたそうです。自然に囲ま

れて、ナチュラルな子どもに育ててほしいと願っているそうです。
お姉ちゃんの呀珀ちゃんはもう1歳と4ヶ月。大場さん一家はながの村に住みだして半年になりましたが、「ながの村のみなさんみんなによく声をかけてもらい、よくしてもらっています」とご主人。自宅の畑はマイトラクターで耕し、種蒔、苗植をいまか、いまかと待ち望んでいます。



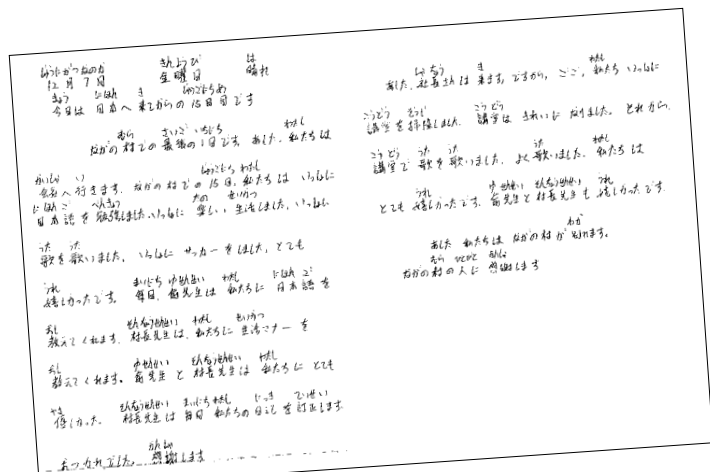
とんど祭りで無病息災祈願

平成20年1月13日(日)午後2時からながの村グラウンドでとんど祭りを行いました。例年なく多くの老若男女が集まり、とんど焼きの準備から、甘酒、ぜんざい、穀付き牡蠣、お餅焼きなど食料の準備をしていただきました。城後振興会長の新年の挨拶から始まり、旧姓瀬尾さんの年女による点火で炎は、またたく間に燃え上がり「大拍手となりました。そして乾杯となり、子どもたちもアルコール抜き甘酒で「乾杯!!」と高々とコップを上げて、今年の無病息災を祈った。

談笑は午後5時まで続き、終わりとりました。



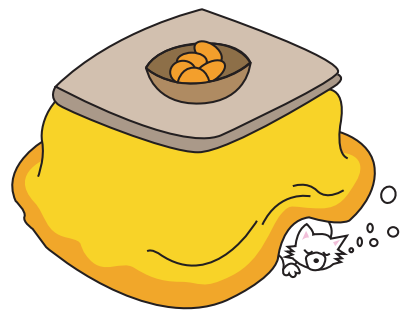
中国人滞在中の感想



さざんかの会 No.4

我が家の一品!!

一品料理の受付は
FAX 0847-86-0045
ながの村まで



ながの村自治振興会、 神石高原町より指定を受けて管理

昨年より、ふれあいセンターながの村(旧永野小学校)は、ながの村自治振興会が指定管理者として運営しています。来年度から、来年度からながの村自治振興会が指定管理者として申請いたします。来年度から、町の方針として指定は3年間とするということですので、3年間は現在の状況が続きます。関係者の皆様、ご支援をお願い致します。

香典返し

日谷 伸児様
横山 美智子様
大 輔様

ありがとうございます。



うちごだんごの作り方

材 料 ①大豆粉…2升 ②もち米粉…1升2合

作り方 大豆粉ともち米粉の割合を6:4
大豆粉:大豆は収穫して普通に保管したものを
水で洗い2~3日乾燥したものを粗めに粉にする
もち米:かしわ餅に使う程度の粉にする。
(これも少し荒い方がだんごらしい)
大豆粉ともち米粉をよく混ぜ合わせる。水を手加減
で入れてしっかりこねる。(かしわもちのこね方と同じ)
約6cm×20cmの形のする。

調理のしかた 1.えんどう、じゃがいも、きり干し、コンニャク、などと煮込んで味付けする
2.うちごだんごを砂糖、しょうゆ、水、みりんで煮込む

これをレンジに入れて中心まで火が通るようにタイマーをかける。
家庭用の電子レンジで10分間くらい焼き上げる
(こげめをつけるため)時間は適当

心のこもった感想文をいただきました。
ありがとうございます。

